

八雲町役場新庁舎等建設事業 についてお知らせします。



完成予想図（正面入り口側）

八雲町役場庁舎等の実施設計が完了しました

令和5年9月から検討を進めてきました「八雲町役場庁舎等建設工事実施設計」が完成しました。設計期間中、町民の皆さんや議会からいただいたご意見を参考にしながら、建設費や維持管理費用の削減に配慮し、利用しやすい庁舎となるよう数度の見直しを行い詳細計画をまとめました。現在、令和7年秋ころの着工に向けて準備を進めており、令和10年5月の開庁を目指しています。



- 庁舎南側にも、庇（ひさし）を支えるためのリブ（補強材）を全体に配置する予定でしたが、庇の張り出しが小さいため構造上リブがなくても支障がないことがわかりましたので、経費削減のため設置しないこととしました。
- 庇を支えるリブの表面には、「町産杉」を張り付ける予定でしたが、耐久性やメンテナンスコストを考慮し、「アルミ」へ変更することとしました。

計画概要

- 建設位置 八雲町宮園町128番地1（旧国立病院機構八雲病院跡地）
- 敷地面積 約20,468㎡（整備範囲のみ）
- 構造規模 鉄骨造、3階建
- 延床面積 約6,147㎡
- 公用車庫 4台（約139㎡）
- 駐車台数 410台（来庁者用296台）

施設機能ごとの床面積

施設機能	床面積
執務室エリア	約3,435㎡
保健センターエリア	約970㎡
公民館エリア	約1,742㎡

《特徴》①町民利用

- ・自由に休憩や打合せができるスペース（多目的交流スペース、大屋根広場、子育て広場、議会傍聴ロビー）を整備

②環境への取組

- ・Nearly ZEB仕様、太陽光パネル 約237kw、蓄電池 約49.6kwh

③災害時の対応

- ・非常用自家発電機（軽油式） 約315kVA（停電時3日間対応可能）
- ・停電時の太陽光発電パネル利用（公用車EV普通充電器、公民館エリア一時避難スペースの電灯・コンセントへ電源供給）

事業費（約68.2億円）

事業費内訳	金額	備考
建設工事費	約50.4億円	
車庫建設費	約0.3億円	車4台分+カーポート
外構工事費	約3.4億円	
監理費	約0.6億円	
解体工事費	約5.9億円	既存病院関係施設解体
その他の経費	約7.6億円	備品購入費、移転費、ネットワーク構築費等

（支出に伴う主な財源）

財源内訳	金額	備考
ZEB対応補助金	約3.5億円	
起債	約54.5億円	
一般財源	約10.2億円	